

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	選挙啓発事業	会計名称	一般会計		担当課	監査委員事務局	
		予算科目	2 款 4 項 2 目	事業番号	690	所属長名	出来和人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	濱田創	
法令根拠等	なし				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	効率的で透明性の高い行財政運営を確保する。						
事業の対象	全市民			事業の目的	市民全体への選挙の重要性の周知		
事業の内容 (整備内容)	小中学生に選挙啓発ポスター作成を募集する。成人式において出席者全員に選挙啓発資料を配布し選挙への関心を高める。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	新有権者となる高校3年生を主な対象として、愛媛県と共同で主権者教育等の出前講座を行うために関係機関と調整している。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
直接事業費	254	323	0	0	0	261	選挙啓発ポスター応募校	校	12	13	13	13
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	選挙啓発ポスター応募作品	点	255	250	257	257
	県支出金	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0						
一般財源	254	323	0	0	0	261						
職員の人工(にんく)数	0.10	0.10				0.10	選挙資材の学校・地域への貸出	件	4	5	2	6
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	1,063	1,125				1,063						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		直接実施							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
					261	261	261	261	261	1,305		
成果指標	指標	作品を応募した学校数	単位	⇒	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標 毎年度			
			校		目標	12	13	13	13			
	指標設定の考え方	伊予市内全校から応募してもらうことで、未来の有権者である児童、生徒に選挙に対する関心をもってもらう。			実績	255	257	270	270			
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		18歳の誕生日を迎えた新有権者にパスブードを送付し、伊予農業高等学校に衆議院選挙の選挙公報を配布依頼を行った。									
事務事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	A	事業成果・工夫した点 投票箱、記載台等の選挙資材を中、高校に貸出し、選挙を身近で、難しくないことを体感してもらった。	事業の苦労した点・課題	小学生、中学生、高校生への年齢に応じた主権者教育のあり方が重要になっている。30年度は県と連携して、高校生を対象とした、主権者教育を検討している。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。	4	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	5						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多である。	3	合計点が	A		事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 市民へ日々1票の行使の大切さを啓発していくことが必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 施策推進につがっていない。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4	合計点が	A						
	コスト効率	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3								
所属長の課題認識	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4	合計点が	A	平成28年7月の国政選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられたことにより、若年者への啓発が一層必要になる。小学生、中学生、高校生への主権者教育が投票率向上への近道であると思われる。その中でも学校へ出向く出前講座がもっとも効果的であると思われるが、効果が現れるまでに長期間を要するのが欠点である。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3							
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の 最 終 判 断 議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	